教育ひょうご

発行所　神戸市中央区中山手通4丁目10－8
兵庫県教職員組合
発行人　兵庫県教職員組合代表者　森戸卓也
編集人　小林健
電話　050（3538）2346
1部15円　年定価360円（組合員の購読料は組合費の中に含む）

2023/7・15
No.2073

・兵教組　夏の学習会　各専門部で始まる！

ようこそ！！兵教組へ！

事務職員部　新組合員学習会

7月6日、ラッセホールで事務職員部新組合員学習会が開催され、新組合員、青年層リーダーなど約30人が参加した。学習会の冒頭、松浦書記長、滝本事務職員部長、ひわだ充三田市議会議員、おくの尚美西宮市議会議員のあいさつがあり、続いて「新組合員のためのよくわかる兵教組」と題して、中井事務職員部副部長より提起があった。中井副部長は、事務職員部の歴史についてふれながら、これまでの運動のとりくみや成果、課題について説明し、事務職員の学校での役割や重要性についても訴えた。

その後、参加者交流をおこない、日頃の学校現場におけるとりくみや、思い・悩みを出し合い共有した。この会を通じて、事務職員どうしのつながりを深めることができた。

参加者アンケートより

・とてもわかりやすかった。今までの活動や、どのような組織なのかすごく勉強になった
・参加者交流で他地域のとりくみや実態を聞くことができ勉強になった。進行リーダーという立場で参加させていただき、良い経験になった
・初任研ではふれられないことを知ることができて良かった。司会の方もとても親身に話を聞いてくださり、すごく楽しかった

▶参加者交流の様子

人事委員長へ「県人事委員会勧告にむけた申し入れ」を実施

いきいきと働き続けられる職場環境の整備、適切な賃金・労働条件の確保等の実現にむけてとりくもう！

兵教組は7月5日、県職労とともに「2023人事委員会勧告にむけた申し入れ」をおこなった。

冒頭、青木県職労中央執行委員長より申し入れ書を手交し、井上県職労中央執行委員が申し入れ内容について趣旨説明をおこなった。

引き続き、松浦書記長から、教育現場の実態をふまえて「学校業務の削減、教職員の勤務時間の適正化の推進」と「人材確保（管理職手当の減額措置）」の2点を要求した。松浦書記長は、「今しんどい思いをしてふんばっている教職員のためにも、そしてこれからこの職場で働きたいと思える人を増やすためにも、学校業務の大胆な削減や勤務時間の適正化、人材確保はまったなしの最重要課題である」と強く要請した。

田中人事委員長は、「職種別民間給与実態調査の詳細な集計・分析をおこない、本県における民間の給与水準や特別給の支給状況を精査していく。申し入れのあった内容や趣旨、また、国や他の都道府県の状況も考慮しながら、今後検討をすすめていきたい」と回答した。

これらの回答を受け、青木県職労中央執行委員長は「再任用職員や会計年度任用職員も含め、すべての職員の賃金改善につながる勧告」等を改めて要求した。さらに、森戸中央執行委員長は「第三者機関として公平・公正・精確な公民比較をおこない、県職員のモチベーションの維持・向上につながる勧告」を要求し、申し入れを終了した。

▶申し入れ書を手交する青木県職労中央執行委員長

※詳細は闘争速報No.1を参照

23年度　兵教組　専門部三役より　養護教員部

とりくみの重点課題

養護教員部は、「安全性・有効性・必要性・子どもたちの人権・プライバシー尊重」の視点を持ち、子どもたちが「心身に関わることを自ら選択する権利」を保障できるような教育環境整備と、養護教員がゆとりを持って子どもたちに対応できるよう、勤務時間の適正化にむけてとりくみをすすめています。三役だけでなく、地区常任の皆さんと力を合わせながら、様々な学習会の開催などもすすめています。今年度は、近畿ブロック交流学習会を兵庫県で開催します。

様々な形で交流の場を持ち、お互いの悩みや困り事を共有することで、養護教員部の皆さんが横のつながりを持ち、助け合い、支え合える組織をめざしています。よろしくお願いします。

岩崎真由美部長（姫路）

三役に新メンバーを迎え、気持ちも新たにスタートしました。賑やかに楽しく活動しています。

さて、感染症が5類へと引き下げられ、様々なことが感染症流行前に戻っています。この3年間が子どもたちに及ぼした影響は計り知れないものがあり、養護教員ならではの視点から見えてくる新たな課題も出てくるでしょう。皆さんのご意見をお聞かせ頂きながら、養護教員部運動をすすめてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

塚本明子副部長（芦屋）

今年度より、副部長をさせていただくことになりました。芦屋は、養護教員部の組合離れが続き、不安定な活動が続いていました。第2回委員会の地区別交流会でも、組合離れについて話があがりました。各市町の規模にもよりますが、対策の難しい問題の一つだと思います。

しかし、嬉しい報告があります。今年度、芦屋の新規採用2人が、組合加入をし、私たちの仲間になってくれました！世代交代もある中、若者層の加入に心強さを感じています。

一人職種で悩むこと、大変なことも多くありますが、困った時こそ助け合える仲間がいる！わかり合える仲間がいる！組合員、一人ひとりが継続できる活動になるよう、皆さんのお力をお借りして、微力ではありますが、自分にできることを精一杯務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いします。

永岡真友子副部長（明石）

今年度より副部長をさせていただくことになりました。

皆さんとのつながり、ともに悩み励まし合いながら学び合える場が組合だと思っています。地域や校種でも課題は違うと思います。ようやく感染症流行前の学校生活に戻りつつある今日この頃ですが、この3年間で子どもたちの健康課題はより複雑化しています。ぜひ、皆さんの声を聞かせてください。子どもたちが安全・安心に過ごせる保健室経営をめざし、ともに活動していきましょう。精一杯がんばりたいと思います。

柳瀬朋子副部長（氷上）

養護教員部の副部長2年目になります。

昨年度の1年間は、私が副部長として何ができるのだろうかと考えながら活動する中、兵教組執行部や三役の皆さんに助けていただきながら活動することができました。活動していく中で、養護教員部のこれまでの歴史、常任委員会・委員会・学習会の開催、地域組合との連携、県教委との交渉など多くの学びがありました。

また、感染症も2類から5類に移行され、学習会の開催方法も元に戻ってきています。そして今年度の近畿ブロック学習会は兵庫開催です。皆さんと集い、意見交流ができることを楽しみにしています。

今年度も、微力ながら皆さんのお役に立てるようがんばりたいと思います。よろしくお願いします。

「とびらのせかい」

（※とびらを開いています）

（※とびらを閉じています）

たつの市立御津小学校　1年　大森　希子

『こどもの詩と絵　第43集』より

兵教組　夏の学習会　各専門部で始まる！

※写真は2022年度

◇栄養教員部

『第34回栄養教員部夏季学習会』
7月24日
ラッセホールにて

全体会では、須貝直美元兵教組栄養教員部長による「ともに考えよう、栄養教員部のこれまでとこれから」と題した講演をおこなう。

その後、「A共同調理場」、「B単独校（小学校）」、「C単独校（中学校）」、「D特別支援学校」の4つのグループにわかれ、①食物アレルギー対応、②衛生管理、③食育のとりくみ、④支援が必要な子どもの対応、⑤物価高騰・給食費の値上げ・予算確保、⑥業務改善を視点にグループ討議をおこなう。

◇臨時採用教職員部

『臨時採用教職員部夏季学習会』
7月28日
ラッセホールにて

全体会では、川原芳和前兵教組中央執行委員長による「兵教組臨採部運動を学ぶ」と題した講演をおこなう。

続いて、臨採部職場実態アンケートをもとに、「これまでのとりくみ」や「臨採部運動」が提起された後、グループ討議で職場・地域組合間の実態にもとづく交流をおこなう。

◇青年部

『青年部サマーセミナー』
7月29日～30日
県立南但馬自然学校にて

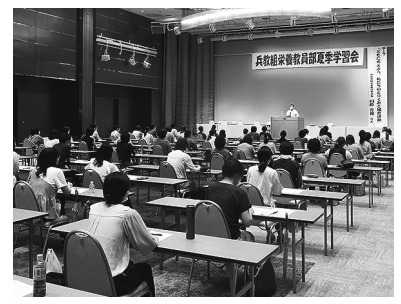
今年のテーマは、「シン・サマセミ（親・芯・進）～楽しんだもん勝ちでしょ！やーっ!!～」。

「今後の兵庫の教育を担うのは私たち青年部だ」という想いを共有しながら、「子どもたちにとってわかる授業・たのしい学校園所」の実現をめざして、教職員としての力量を高め、兵教組青年部のつながりを深める。

一日目の講座Ⅰでは、小西ひろのり兵庫県議会議員による「組合の芯とは?～兵教組のとりくみから～」と題した講演をおこなう。

講座Ⅱでは「Let's進king!!～これからの働き方を見つめよう～」と題して分散会をおこなう。

二日目の講座Ⅲでは、「親・技・体～絆がお土産!やーっ!～」と題し、「A. フロンティア」、「B. アウトドア・クッキング」、「C. マウンテン・クライミング」、「D. 絵に平和の願いをこめて」、「E. ネイチャー・スクール」の5講座にわかれて、参加型の体験学習・体験活動をおこなう。



◇事務職員部

『第51回兵庫県学校事務研究集会』
7月25日
ラッセホールにて

集会テーマは「子どもの学習権保障をめざす学校事務の創造～ゆたかな教育の創造をめざし、義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、より主体的に職務の確立をすすめよう～」。

今年度から一日開催とし、午前中に和田賢一日教組事務職員部長による中央情勢報告をおこなう。

午後からは3つの分科会で、6本のリポートをもとに討議をおこなう。

◇養護教員部

『第63回サマーセミナー』
7月26日
ラッセホールにて

記念講演では、神戸市こども家庭センター医師の長谷川弘子さんによる「ウィズコロナ社会のなかでの子どもの心のケア」と題した講演をおこなう。

その後、安村美代日教組養護教員部長による中央情勢報告をおこなう。

分科会では、第1分科会「子どもの悩みや問題点にふれて」、第2分科会「子どもの健康権の確立について」、第3分科会「養護教員部運動の強化発展のために」のテーマで報告と討議をおこなう。

◇女性部

『サマー・ワークショップ』
7月27日
ラッセホールにて

今年度も「性にとらわれず自分らしく生きよう～笑顔で両立するために～」をテーマに学習を深める。

講座Ⅰでは、兵庫教育文化研究所ジェンダー平等教育部会によるワークショップ「当事者の想いにふれる」。

講座Ⅱでは、古賀ちかげ日政連・参議院議員によるオンライン講演。

講座Ⅲでは、第1分科会「すごろくでSDGsを学ぼう」、第2分科会「お金のことについて考えよう～保障見直しを通じて～」、第3分科会「アンコンシャスバイアスについて」のテーマで学習を深め、エンパワーメントをはかる。

◇兵庫教育文化研究所

『第50回教育課程編成講座』
8月2日・3日
ラッセホール・神戸市教育会館・県民会館にて

【前期】課題別分科会

前期の全体会では、園田雅春さん（元協力研究所員）を講師に、藤原嵩史さん（研究所員）を実践報告者として、「失われた子どもたちの自治・日常を取り戻す」と題した講演をおこなう。

前期は、自治的諸活動と生活指導、人権教育、国際連帯・多文化共生の教育、インクルーシブ教育、ジェンダー平等教育、食・環境教育、平和教育、メディア・リテラシー教育と文化活動、教育条件整備の運動、防災教育の分科会を開催する。

【後期】教科系分科会

後期の全体会では、大森直樹さん（協力研究所員）を講師に、永田守さん（芦屋）を実践報告者として、「授業時数と教育実践」と題した講演をおこなう。

後期は、日本語教育、外国語教育、社会科教育、算数・数学教育、理科教育、美術教育、音楽教育、技術・家庭科教育、保健・体育、総合学習・教育課程の分科会を開催する。

あんしん むすぶ
教職員共済

さまざまな声に応える生命・医療保障

死亡
団体生命

入院
医療共済

特定の病気など
医療共済

トリプルガード
団体生命共済・医療共済

トリプルガードは、「死亡」を保障する団体生命共済と、「入院」「特定の病気など」を保障する医療共済で、3つのリスクをガードするという意味からつけた愛称です。

貯金もしたいし
手頃な掛金で
最低限の保障から
はじめたいな

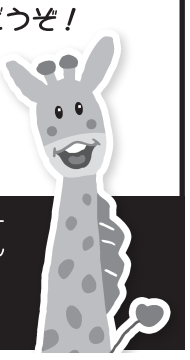
家族構成などの
変化に合わせて
契約内容を
見直せるといいね

配偶者やお子さまもご加入OK！
詳しくはホームページへ！
お問い合わせもお気軽にどうぞ！

教職員共済　検索
https://www.kyousyokuin.or.jp/

※ご契約にあたっては必ずパンフレットおよび重要事項等説明書（契約概要・注意喚起情報）をご覧いただき、制度内容をご確認ください。

資料請求・お問合せは

厚生労働省認可
教職員共済生活協同組合　兵庫県事業所
〒650-0004　神戸市中央区中山手通 4-10-8 ラッセホール 4F
TEL 078-221-9730

イメージキャラクター
あむりん